

事業報告

平成29年度 教育事業

信州高遠星座観察会 ～全4回～

【対象】 家族・グループ（星に興味のある方）
【場所】 国立信州高遠青少年自然の家

～趣旨～

国立信州高遠青少年自然の家の各種望遠鏡を使って、高地特有のきれいな星空を観察し、宇宙や自然への興味関心を高める。

～主催～

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家

～開催期日～

【第1回】平成29年9月9日(土)～10日(日) 【第2回】平成29年11月11日(土)～12日(日)
【第3回】平成29年12月9日(土)～10日(日) 【第4回】平成30年3月17日(土)～18日(日)

～活動日程(全回共通)～

時	受付16:30～17:00		16	17	18	19	20	21	
1 日 目	送迎バス 茅野駅東口 16:00発 伊那市駅前 15:50発		受付	ガイダンス	夕食		星座観察	入浴	就寝
2 日 目	6 起床	7 ついで 朝食	8 荷物整理	9 清掃確認 諸連絡	9:20解散 送迎バス 9:40自然の家発 茅野駅 10:20頃着 伊那市駅 10:30頃着				

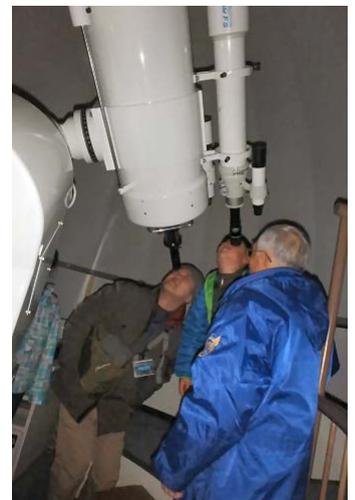
～参加者～

【第1回】17家族51名（長野県：41名、栃木県：5名、神奈川県5名）
【第2回】19家族60名（長野県：51名、山梨県：5名、静岡県：2名、東京都：2名）
【第3回】17家族51名（長野県：49名、静岡県：2名）
【第4回】11家族37名（長野県：30名、東京都：7名）
計64家族199名
(長野県：171名、東京都：9名、山梨県：5名、栃木県：5名、神奈川県：5名、静岡県：4名)

～活動トピックス～

講師：信州高遠青少年自然の家 星空観察指導員（各回2名）

参加者は皆、300mm天体望遠鏡(ドーム)から様々な星を眺めたり、128mmの天体望遠鏡と双眼鏡を使い、星見台からアンドロメダ星雲やすばるなどの天体を観察したり、四季折々のプラネタリウムを見たり、講師から各季節の星座や宇宙に関する話を聞いたりしながら様々な星座の世界に浸り、美しい星空を堪能した。



～参加者の声～

- ・プラネタリウムなどで星の世界を知り、実際に望遠鏡を使ってその星座や星を見ることができて、とても良い経験になった。
- ・子ども達が望遠鏡等を使って星空を眺める体験をしたことで、星に対する興味がさらに深まって良かった。
- ・ログハウスに泊まったり、身の回りのことを自分でやったりする経験は、子ども達にとってとても大事だと感じた。
- ・双眼鏡を一晩借りることができ、自由に星を見ることができてとてもよかった。
- ・2日目にクラフトを体験させてもらったが、良い記念品を作ることができて楽しかった。

～成果と課題～

- 天候に恵まれた回は実際の星空を存分に見ることができ、参加者の皆さんの満足度がとても高かった。観測会の後半に雲が出てきた回があり、雲が晴れたときや自分で好きな時間に星を見ることができるよう、双眼鏡を一晩貸し出した。次年度以降も同様な対応をとる方向が良い。
- 星座観察指導員の話に専門用語等が多く使われたため、幼い子ども達が星に関する興味を深めにくい回があった。事前打合せでも対象年齢に応じた指導を依頼しているが、今後も引き続き依頼をしていく必要があると思われる。

